

眼科

2024年度は昨年度3人体制だったところに専攻医1年目の医師を加えた4人となった。

手術件数は大きく変わらない状態で専攻医に多くの経験を積ませる事が出来た。

また、専攻医2名が専門医試験に合格し専門医3名体制となった。

マンパワーが増えたため緊急紹介の症例などに対しても比較的スムーズに対応出来るようになった。

白内障手術に関しては多焦点眼内レンズや乱視矯正レンズ、焦点深度拡張型単焦点眼内レンズなどにも必要に応じて適宜用いることにより、質の高い術後視機能を得られるようにしている。

2025年度はまた3名体制となりマンパワーが減るのでどこまで現状の診療体制が維持出来るかが課題と思われる。

＜2025年度の展望＞

- 1. 多焦点眼内レンズの使用などにより、白内障術後屈折成績の向上を目指す
- 2. 27G硝子体手術の導入を検討する

＜2025年度の重要課題＞

- 3. 後期研修医を育成する
- 4. 2.硝子体術者の育成に努める

（部長 藤田 太一）

- ・ 医師数 3名
- ・ 専攻医 1名
- ・ 初期研修医 0名

（2025年4月現在）

【入院患者】 (単位：人)

	2020	2021	2022	2023	2024
新 入 院	1,645	1,473	1,716	1,886	1,818
退 院	1,650	1,469	1,705	1,900	1,817
延べ人数	3,898	3,844	4,443	4,706	4,687
一日平均	10.7	10.5	12.2	12.9	12.8

【外来患者】 (単位：人)

	2020	2021	2022	2023	2024
新 来	1,078	946	1,059	1,099	953
再 来	14,718	12,788	13,965	14,959	16,300
延べ人数	15,796	13,724	15,024	16,058	17,253
一日平均	53.9	46.8	51.3	54.8	58.9

【平均在院日数】 (単位：日)

年 度	2020	2021	2022	2023	2024
日 数	1.4	1.6	1.6	1.5	1.6